

第3回 持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会 議事概要

日時：令和5年3月29日（水）15:30～17:00

場所：中央合同庁舎第2号館 共用会議室3A

事務局からの資料説明後、関係事業者等に対して実態ヒアリングがなされた。ヒアリングした事業者等からは、以下のような発言があった。

- 組合員にアンケートをしたところ、グラハンを含む空港サービスについては、比較的若い時期にあこがれをもって志望した人が多いようだ。その一方、公休日に急遽出勤になるなど、入社前に抱いていたイメージとかけ離れた職場環境に不満の声があげられている。
- コロナ後の急激な需要回復局面において顕著なのは、中堅職員からの不満の声。グラハン会社は新規採用を進めてはいるが、その職員を育成する役割を担いながら、自らも作業を実施しなければいけない中堅職員に負担が集中してしまっている。彼らの労働環境はコロナ前よりも更に厳しくなっていると認識しており、強い危機感を覚えている。
- 昼食のためにコンビニに往復20分以上かけていかなければいけないなど、普通の職場では考えられない。労働組合として職場環境の改善を求めているが、決して贅沢な要望をしているわけでないことは、ご理解頂きたい。
- 中堅職員は、仕事の核となる役割を期待されている一方、家庭においても、結婚、育児などによって貢献が期待されている世代。ワークライフバランスにも配慮していかないと、仕事自体は好きでも、短時間勤務が難しく、同僚にしわ寄せが行くため、退職せざるをえなくなってしまうという構造的課題がある。
- グラハンについて最低賃金を設定するというのは、重要なテーマであると思っており、労働組合としても検討を進めているところ。特定の業種と認めてもらうために地道に進めていくことと、業界団体の設立によって労使で協議していき、それを行政にも認めてもらう、といった取組が必要であると考えている。
- グラハンの未経験者に一通りのスキルを身につけさせるには、4～5年を要する。会社には、新規採用だけでなく、スキルを持っていて離職してしまった経験者をこの業界に呼び戻すための取組を進めて欲しいと思っている。
- 適正取引の推進は、賃金だけでなく、労働環境の改善のためにも非常に重要。賃金を下げてコストを削減するという業界構造は、変えていかなければならない。

- 自治体は外航誘致に懸命になっているが、そもそも労働者がいなければ誘致はできない。地方空港の労働者は、その地域で生活されている方である。そういった方の声にしっかりと耳を傾けた上で、経済活動を進めていくことの意義を、空港関係者間で話しあっていく必要がある。
- 人件費等の補助が理想だが、難しい場合には、自治体がグラハン会社のハード整備を支援していくこと等を通じて負担軽減を図るというやり方も有効と考える。会社の経費負担が一定程度緩和されれば、その分、労働環境の改善につながっていくことが期待できる。
- イノベーションを通じた省力化・省人化を進めていくことが重要。コロナで傷ついたグラハン会社が新たな投資を行うことがなかなか難しいこと等は理解しているが、国が導入経費を補助すること等を通じて、実効性を高めていく必要がある。
その一方、自動化等が難しい業務もある。自動化できる業務のイノベーションを進めながら、その分の人員を自動化等が難しい業務に充てるなどの工夫が必要。
- 保安検査の配置人員数を減らすのであれば、業務効率化や賃金アップ等をあわせて行わないと、現場から「労働強化」と受け取られてしまい、人員の更なる流出に繋がってしまうおそれがあるのではないか。
- 保安検査員は、保安検査場の一日の混雑ピーク時間の変動が大きいこと等から、実働時間以外も空港内で休憩等をして待機しているケースが多い。このため、例えば空港滞在時間が14時間超に及ぶ場合でも、実働時間が8時間未満に留まっているケースもあり、現場から不満の声があがっている。
- 労働時間については、通勤距離をはじめとする制約の有無など、実態を踏まえて判断していく必要がある。
- 検査会社に入社してくる人のモチベーションとしては、「空港で働きたい」というものが多い。中には、もともとは航空会社やグラハン会社に務めたかったが、それが叶わずに検査会社に入社してきた人もいる。
このため、最近では、航空会社等の募集が再開していることから、そちらに内定を頂いたので離職するといった方が目立ってきている。
- 検査会社の内定辞退率は、コロナ前から概ね8～9割ぐらい。これに加え、最近では元々の応募数も減ってきているため、採用環境は極めて厳しい状況にある。

- 保安検査は、カスタマーハラスメントが深刻な課題。苦情には、現場の上席者と航空会社の職員で対応をしているが、ときには職員が暴行されるケースもある。このような場合には、警察官に対応頂いている。